

1日(水)～7日(火)は春の全国火災予防運動

市消防本部では火災が多発するこの時季を【火災予防強化月間】としています。期間中は巡回を強化し、危険行為に対して指導します。令和4年は、管内で**85件**の火災が発生し、**5人**が亡くなりました。空気の乾燥と強風により、例年に比べ発生件数が大幅に増加しています。ちょっとした「習慣」「準備」を意識して火災を防ぎましょう。

住宅火災を防ぐ3つの「習慣」

住宅火災を防ぐためには、日頃からの「習慣」と「対策」が大切です。安全装置の付いたストーブやこんろ、防災品の寝具やカーテンを使用するなど、安全のために自宅を確認してみましょう。

管内の住宅火災原因トップ3

こんろ



たばこ



電気機器



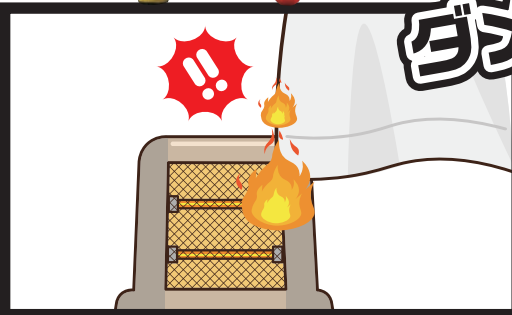
住警器レンジャー



住警器レンジャーが自宅を確認!

住宅用火災警報器の設置を呼び掛け、火災予防を訴えるのがわれらの使命!

◀市消防職員が扮しています。



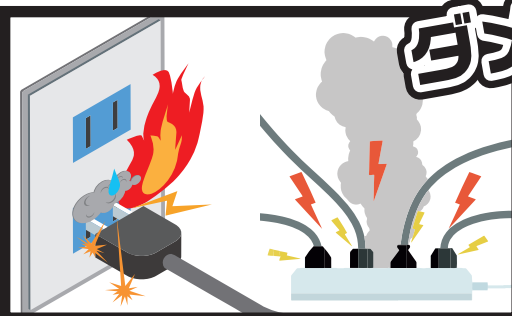
ダメ!

ストーブの周りに燃えやすいものを置かないで!



ダメ!

こんろを使う時は火のそばを離れないで!



ダメ!

コンセントはほこりを取り、 unnecessary プラグは抜こう!

ちよつとの「用心」で火災は防げる!
火災予防強化月間! 火災多発中!!

消防本部予防課
 TEL 0848-64-5927 FAX 0848-64-5911



管内火災原因ダントツ1位「草焼き」

草焼きは、枯れた草を燃やすことで害虫駆除につながり、若い草の栄養にもなる農業の重要な作業です。しかし、管内で草焼きを原因とする火災は令和4年の1年間で**37件**も発生しており、火災原因の43.5%を占めています。しっかりと準備して、火災を起こさないよう十分注意しましょう。



「沼田東少年消防クラブ」(奥)
奥田 駿さん、中山恭吾さん
「Brave Fire Club」(手前)
中野采子さん、沖邊仁胡さん

少年消防クラブと準備を確認！

防火・防災、規律や防火マナーなどを学び、次世代の担い手を育成する「三原少年消防クラブ」。

「沼田東少年消防クラブ」と「Brave Fire Club」の2クラブが活動中！



草焼きが原因の火災が減りません！

※ごみの野焼き(野外焼却)は原則禁止。

草焼きをするための4つの「心得」

草焼きの途中でその場を離れてない？



草焼きの前に届け出はした？



3

完全に火が消えるまで、その場を離れないで！

少し風が強くなるだけで、一気に燃え広がります。



日時・場所を伝えます



管轄する消防署または出張所に届け出をしよう！

火災と紛らわしい煙や火災が発生する恐れがある場合は、文書または電話での届け出が指導されています。

4

火がちゃんと消えているか最後まで確認しよう。



2

消火器具、水バケツなどを用意しよう。



火は完全に消した？



消火の準備をしよう！



草焼きが原因の火災が発生するのは、土曜日の昼間が最多！

「食事のために少しの間帰宅しよう」「このくらいの風なら大丈夫だろう」というちょっとした油断が危険！
また風が強い日や空気が乾燥している日は、中止の判断を！

Information

糸崎出張所を三原消防署に統合します

高まる救急需要に適切に対応するため、4月から糸崎出張所と統合し、三原消防署の救急隊を増隊します。糸崎出張所は統合後、市消防団糸崎分団屯所として使用します。

三原消防署 宮浦一丁目
糸崎出張所(糸崎分団屯所)糸崎七丁目
☎ 消防本部総務課
(☎ 0848-64-5910 ☎ 0848-64-5911)